

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M314M202	臨床病態学 (外科) (Clinical Pathophysiology: Surgery)	専門科目 コース共通専門分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	2	2	前期	木・5	田仲 和宏、穴井 博文、猪股 雅史、小副川 敦、秦 聡孝、河野 康志、渡邊 哲生、久保 毅、木許 賢一、波多野 豊、清水 史明 内線：5872 E-mail：ktanaka@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

運動器に関連する人工臓器、即ち人工関節について、骨・軟骨など関節の構造、関節を動かすための筋肉や神経の働きを含む基礎的事項、人工関節の材料、臨床バイオメカニクス、各関節の特徴的な人工関節、腫瘍用人工関節などの臨床的事項について、最新のエビデンスと臨床経験に基づき学び、人工関節の全体像について理解する。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 各臓器の解剖学的特徴を述べることができる。	○					
2. 各臓器の外科的疾患の診断について述べるができる。	○					
3. 各臓器の外科的疾患の治療について述べるができる。	○					
4. 各臓器の外科的疾患の予後因子について述べるができる。	○					

#### 【授業の内容】

1	外科的治療概論 (田仲 和宏)
2	上部消化器外科 (猪股 雅史)
3	下部消化器外科 (猪股 雅史)
4	肝胆膵外科 (猪股 雅史)
5	呼吸器外科 (小副川 敦)
6	泌尿器外科 (秦 聡孝)
7	生殖器外科 (河野 康志)
8	頭頸部外科 (渡邊 哲生)
9	心臓血管外科 (穴井 博文)
10	脳神経外科 (精神・神経疾患) (札幌 博貴)
11	運動器外科 (田仲 和宏)
12	感覚器外科 (木許 賢一)
13	皮膚外科 (波多野 豊)
14	形成外科 (清水 史明)
15	総まとめと小テスト総括、症例検討、課題 (田仲 和宏)

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	小テストによる自己評価	
B：意見の表現・交換	○	レポート提出	
C：応用志向	○	症例検討によるチュートリアル	
D：知識の活用・創造			

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する (35h)。
事後学修	授業での学習を活かし、小テストや配付資料を用いて復習する (25h)。

<b>【教科書】</b>						
教科書は指定しない。 授業中に配付するプリント小冊子を使用する。						
<b>【参考書】</b>						
北野正剛監修「標準外科学（第15版）」医学書院、2019年、ISBN978-4-260-03630-6 猪股雅史編「わかりやすい外科」文光堂、2017年、ISBN978-4-8306-2343-1						
<b>【成績評価方法及び評価の割合】</b>						
評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	
小テスト	10%	○	○	○	○	
チュートリアル	10%	○	○	○	○	
課題レポート	20%	○	○	○	○	
定期試験	60%	○	○	○	○	
<b>【注意事項】</b>						
<b>【備考】</b>						
教員の実務経験の有無	○					
教員の実務経験	附属病院の医師					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×					
教員以外の指導に関わる実務経験者						
実務経験をいかした教育内容	各種がんの基礎的、臨床的事項について、最新エビデンスおよび臨床経験に基づいて講義する。					
授業形態	対面					